

日本小児感染症学会若手会員研修会第1回水戸偕楽園セミナー

症例検討会 1

森内浩幸*

夕食後の症例検討会1では、森内が日米での臨床経験のなかで教訓的だった症例を取り上げ、「ありふれた病原体の思いがけないインパクト、ありふれた疾患の陰に思いがけない病原体」と題し、参加者との活発なQ & Aを交えながら診断のプロセスを進めていった。講義続きで疲れたところに夕食のお弁当を食べて脳血流が減った状況でも、皆さん目をパッチリ開けて懸命に考えていました！

スライド解説

Case #1. ADHDと思われた男児に、こんな感

染症が潜んでいたの！？

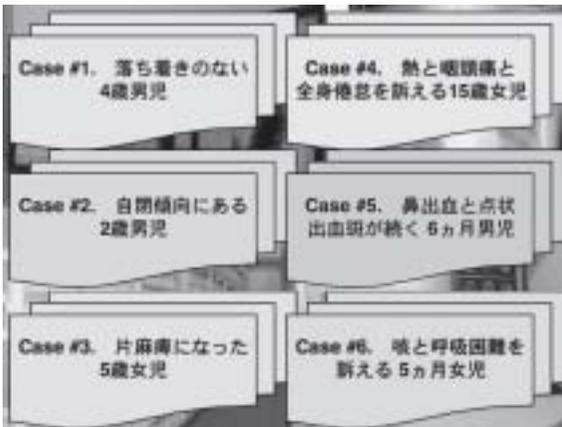
Case #2. 自閉症と思っていた男児が、実は何と感染症！

Case #3. 小児には珍しい脳梗塞～実は感染症が絡んでいました！

Case #4. えっ！ただの伝染性単核症ではなかったの！

Case #5. 慢性ITPに抗菌療法！？

Case #6. アトピー素因のある子の喘息様の病態？ところがある夜就寝中に突然死！何が起こったの！？



Case file #1: 落ち着きのない4歳男児

元々ちょっと落ち着きのない、じっとしてられないタイプの子供と思われていたが、数週間くらい前からそれが顕著になったので来院した。



診察室の中を絶えず落ち着かず動き回り、あっちに行ったりこっちに行ったりしながら、置いてあるものを弄くり回す。椅子に座らせてみても落ち着かず、立ち上がったたり座ったりを繰り返す。。。夜寝ている間も、もぞもぞするらしい。

まともに神経学的診察などはできやしないが、動き回る様子を見る限り、運動機能には問題なさそう。

家族歴、周産期歴には異常ない。運動機能の発達に正常であったが、社会性や言語の獲得は少しだけ遅れ気味だった。その他には特記すべき既往歴はない。

注意欠陥・多動性障害 Attention Deficit /Hyperactivity Disorder

* * *

* 研究教育委員会委員長